

げんご こくさいぶんかがつか 言語・国際文化学科

げんご こくさいぶんかがつか ほりつ かんぼう ごう せつりつ ねんど
言語・国際文化学科は、法律4589/2019（官報13/29.01.A'号）により設立され、2019-20年度、ヴ
ロスで最初の学生を受け入れました。本学科は、知識・情報の創造、生産、伝達がグローバル化
した現代環境において、人文科学、特に言語と文化の研究が再位置づけされる中で、ダイナミ
ックな学際的知識領域を扱っています。この学科は、異文化間および国境を越えたコミュニケ
ーションと異文化関係の現代的な分野で生じる課題に対応しています。この課題は、今日、
せいようしゃかい ないぶ けつそく こうせい しごと せいさん こつきょう こ かんきょう せいようせかい そと ちりてきちいき
西洋社会の内部の結束と構成、仕事と生産の国境を越えた環境、西洋世界の外の地理的地域、
げんごてきぶんみやく ぶんかてきぶんみやく のマルチレベルコミュニケーションのますます高まる必要性に関
わるものです。現在の国際情勢において、ギリシャの言語・国際文化教育は、国の戦略的な地
せいがくてきけいかく しょうらい てんぼう とうめん ゆうせんじこう とく ちゅうきんとう きょくとう げんご
政学的計画や将来の展望において、当面の優先事項となっています。特に中近東や極東の言語
や文化に関する教育は、これまで以上に急務となっています。言語・国際文化研究学科は、
おうようげんごけんきゅう すいしん げんご ぶんかきょうい く けんきゅう ひかくれきし ぶんかく
応用言語研究を推進し、言語・文化教育およびトランスナショナル研究を、比較歴史・文学、
こくさいぶんか ひひょうりろん たようせいけんきゅう か りろん
国際文化コミュニケーション、批評理論、多様性研究、グローバル化・グローバルシステム理論、
こくさいぶんかきょうい かんきょう しごと ふかいけんきゅう くみあわせた
国際文化教育、トランスナショナル環境での仕事についての深い研究と組み合わせたカリキュ
ラムを提供し、この必要性に応えることを目指しています。この学科は、現代的な研究テーマ
すぐれたけんきゅう そつぎょうせい ろうどうしじょう てんぼう かねそなえて とく ちゅうとう きょくとう げんご
と優れた研究、卒業生の労働市場への展望を兼ね備えています。特に中東や極東の言語や
ぶんか ちしき もつそつぎょうせい たい じゅう たか かんこう ぼうえき つうやく こつきょう こ
文化の知識を持つ卒業生に対する需要は高く、観光、貿易、通訳、国境を越えたコンタクト、
けんきゅう かがきょうりよく ぶんや いてい じゅう よそう げんご こくさいぶんかけんきゅうぶもん
研究、科学協力などの分野で一定の需要があると予想されます。言語・国際文化研究部門は、
たいがくじんぶんしゃかいかくぶ きそん とく こくさいぶんか げんごきょうい きょういくてきおうよう
テッサリー大学人文社会科学部の既存のインフラ、特に国際文化や言語教育の教育的応用を
あつかうけんきゅうしつ かつよう そうじょうこうか うみだします
扱う研究室を活用することで、相乗効果を生み出します。

Dimitrios Karoutis にほんご きょうし
日本語の教師

テッサリー大学、だいがく げんご こくさいぶんかがつか
言語・国際文化学科